

第8回 優良製品・技術表彰 2026

優れた建築材料・住宅設備の製品・技術を社会に発信し、品質並びに施工技術の向上を図り、建築業界全体の更なる発展と向上に寄与することを目的として「優良製品・技術表彰」を実施しました。

本表彰は、経済産業省、国土交通省及び環境省の後援のもと実施するものであり、建築分野における優れた製品・技術を広く顕彰し、その普及を通じて建築業界の発展に資することを目的としています。

誰もが安心して暮らすことができる住生活の実現、安全で質の高い住宅・建築ストックへの更新・整備、地域の魅力の維持・向上等に資する優れた建築材料・住宅設備であるかどうかを製品・技術、サービス、システム又はそれらに関する取組の新規性・独創性、意匠性、機能性・安全性、実用性、脱炭素貢献性、社会実装性等の観点から総合的に選考・評価を行い、厳正な審査の結果、下記の受賞製品・技術を決定しました。

優良製品・技術表彰 2026 選考委員会

経済産業省 製造産業局長賞

「SZ ルーバーシステム type G」 三洋工業株式会社

[講評]

意匠性の高い建築空間において木目調ルーバーの採用が拡大する一方、大空間天井では耐震基準上の制約がルーバー天井の設計自由度を大きく制限してきた。本製品は、ルーバー天井を「吊り天井」ではなく「準構造化天井」として成立させる独自構造により特定天井の制約を回避し、安全性と高い意匠性を両立させた点を高く評価した。専用ストリンガーを採用し下地の状態で固有周期 0.1 秒以下を満たす高剛性設計とすることで、ルーバー材の種類や設置ピッチを幅広く選択可能とし、設計者の豊かな創造性に十分に込められる高い汎用性も実現した。安全・安心な建築空間の創出とデザインの高度化に貢献する次世代天井システムとして、ショールームや商業施設・学校など幅広い大空間建築での意匠表現に新たな可能性をもたらす革新的な優れた製品・技術として高く評価した。

国土交通省 住宅局長賞

「極地ハウス・リフト・省エネルギー型 EPS 断熱構造システム」 明和土木興業株式会社

[講評]

南極観測所で培われた建築技術を一般建築へ展開し、高断熱・軽量・高強度を兼ね備えたユニットハウスとして実用化した本断熱構造システムは、構造用合板と EPS 断熱材を一体化し、釘や金物を使わず断熱欠損を極限まで抑えながら軽量性と高強度を両立している。南極大陸での過酷な使用実績に裏付けられたその技術的独自性は非常に高く、猛暑環境下での熱中症リスク低減と冷暖房負荷削減による脱炭素化への貢献など現代社会が抱える課題への対応力も備えている。吊りフックによる迅速な設置・移設が可能な施工性の高さも評価でき、建設現場の休憩所からイベント・学校・防災施設・仮設住宅まで多様な用途への高い適用性を備えている。優れた技術を社会課題の解決へ結び付けた独創性を有し、波及効果も期待できることから、本システムを優れた製品・技術として高く評価した。

環境省 地球環境局長賞

「ビニレーン e」 ナカ工業株式会社

[講評]

建設現場では施工効率の向上と環境負荷低減を両立する製品への期待が高まっている。本製品は、従来必要であった笠木の加熱工程を排除し常温施工を可能にした手すりシステムであり、加熱工程の廃止により 100m 施工あたり約 10.5kWh (CO₂換算約 4.28kg) の削減を実現し、建築現場の脱炭素化にも貢献している点を高く評価した。抗ウイルス・抗菌性能を標準装備することで医療・福祉施設や公共施設など衛生管理が求められる空間にも適しており、寸法安定性試験・温冷サイクル試験・1200N 荷重試験などの各種性能試験を満たし、優れた耐久性と品質も確保している。多彩なカラーやブラケットによる高い意匠対応力とあわせ、施工性・環境性能・衛生性・デザイン性をバランス良く備えた次世代型手すりとして持続可能な建築現場の実現に貢献する優れた製品・技術として高く評価した。

優秀賞（日本建築協会賞）

「TS スライド SAT」 東洋シャッター株式会社

[講評]

バリアフリー化の要請が広がる一方、市場には防火・遮煙・防音・気密といった複合性能と軽快な操作性を両立させた引き戸がほとんど存在しなかった。本製品は、特別な操作を必要とせず従来と同じ開閉操作で自動閉鎖し各種性能を発揮するという革新的な機構を実現しており、利用者の利便性と安全性を同時に向上させた点を評価した。特定防火設備・遮煙認定 (CAS-1266/1267)・防音 T-2～T-4・気密 A-3 等級という各種認証を取得しており、確かな性能が裏付けられている。片引きタイプで最大 W1300×H2400 まで対応する仕様の柔軟性も評価できる。高齢化社会やユニバーサルデザインへの対応が求められる中で建築物の安全性と快適性を向上させる製品として社会的意義は大きく、今後の幅広い普及が期待される優れた製品・技術と評価した。

優秀賞（大阪府建築士会賞）

「G-PF システム®特殊描画工法・遮熱クリアー仕様」 株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

[講評]

高い意匠性と遮熱性能を融合させ、建築外装に新たな価値を創出した点を評価した。自社開発のコーティング技術と化粧打ち放しコンクリートの補修・リニューアルで培ってきた模様描画技術を組み合わせ、通常の塗装では表現できない深みのある濃淡デザインをコンクリート・モルタル・ケイカルボード・ECP 面など幅広い下地に提供している点は独自性が高い。近赤外線を反射する遮熱クリアーコートにより外壁表面温度を最大 13℃低下させ、空調負荷の低減・CO₂削減・ヒートアイランド緩和に貢献する環境性能は特筆される。施工管理から品質確認まで一貫した認定施工班の体制により安定した品質を確保し、防汚性や耐久性にも優れ、長期間美観と機能を維持できる点も評価できる。意匠性と環境性能を融合させた優れた製品・技術と評価した。

優秀賞（日本建築家協会 近畿支部賞）

「Φ35mm 手すりブラケット pivo」 株式会社水上

〔講評〕

歩行補助といった機能面に求められる安全性を確保しながら、従来の手すりに付きまとっていた「福祉機器らしさ」を払拭したデザイン性を評価した。手すり棒と同径の円柱形状をブラケットに採用することで手すり全体に自然な一体感をもたらし、住宅や公共施設など幅広い用途で空間の意匠性を損なわない新しい価値を提案している。外観にネジを一切露出させず部品の合わせ目も最小限にすることで、どの角度から見ても美しい丸棒の印象を維持しており、施工性にも十分配慮してデザインと実用性を高い次元で両立している。一般的な Φ35mm 棒を採用するため使い心地は従来品と変わらず、階段・廊下だけでなく縦方向の動作補助手すりにも適用できる汎用性も備え、高齢化社会において誰もが抵抗感なく利用できる住環境の実現に貢献する優れた製品・技術と評価した。

優秀賞（大阪府建築士事務所協会賞）

「土台めり込み防止用プレート（樹脂製）」 株式会社ダイドーハント

〔講評〕

木造建築物の耐震性能向上と施工現場の負担軽減が求められる中、本製品は従来の金属製プレートを樹脂化することで新たな価値を創出した点を評価した。柱脚部の軸力を確実に分散し土台のめり込みを防止する基本性能を維持しながら、重量を金属製プレートと比べ約 70%軽量化したことで現場での持ち運び易さや配送時の環境負荷低減に大きく貢献している。さらに溶融亜鉛めっき処理工程を不要とすることで製造時の環境負荷も低減しており、作業者と地球の双方に優しい製品として施工性・軽量性・環境性を高い次元で両立しているといえる。木造建築の耐力発生箇所への樹脂材料適用という先進的な取組として、現在申請中のハウスプラス認証取得後に広く普及し建築現場の省力化や環境性能向上に寄与する優れた製品・技術と評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「REJITON ecoro」 株式会社シブタニ

〔講評〕

建築分野において循環型社会への対応が求められる中、製造工程で発生する廃材の有効活用は重要な課題となっている。本製品は、人造大理石製造時に発生する端材を再資源化し、独自の粉碎・選別技術により 100kg の端材から約 70kg を活用できる高い再生率を実現した環境配慮型素材である。リサイクル材でありながら従来品と遜色ない質感・意匠性を確保しており、設計者が安心してリサイクル素材を採用できるという点は普及推進において非常に大きな利点といえる。上り框・巾木・洗面カウンター・カウンター天板など幅広い内装用途に対応できる高い実用性も評価できる。廃棄物削減と資源循環を実践し環境配慮製品の普及に向けた新たな可能性を示した取組であり、サステナブルな建築材料として建築業界の資源循環に寄与する優れた製品・技術と評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「搬送システム『ハンソーレール』」 株式会社ダイケン

〔講評〕

建設・物流分野では深刻な人手不足への対応と作業安全性の向上が喫緊の課題となっている。本製品は、既存の足場やH形鋼を有効活用して設置できる搬送システムであり、重量物の水平搬送や揚重作業を効率化することで省人化と作業負担の軽減を実現した製品である。仮設足場用はクレーンが入らない狭小現場にも対応でき（耐荷重：2個吊り 300kg）、工場・倉庫用は既存天井H形鋼へ無加工で後付け設置でき導入コストも抑えられる（耐荷重：1個吊り 150kg）。多様な現場環境への高い適応力と確かな機能性を兼ね備えており、既存仮設材・設備を最大限に有効活用する独自性も際立つ製品である。作業者の負担軽減と現場の効率化を強力にサポートする搬送システムとして、建設現場の生産性向上と労働環境改善に貢献する製品・技術と評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「家コネクト」 株式会社タナカ

〔講評〕

近年、自然災害の激甚化に伴い、建物被害を迅速かつ客観的に把握する技術の重要性が高まっている。本製品は、地震発生時に建物が受けた震度と層間変形角を自動計測・解析しスマートフォンやパソコンで被災状況を可視化するIoT型モニタリングシステムであり、従来は目視や経験に依存していた被害確認を迅速化し避難や復旧判断の高度化に大きく貢献する点は社会的意義が大きい。茨城県土浦市との災害協定締結のもと避難所として使用される公民館8か所への実装実績を有し、新築・既存を問わず幅広い建物に設置可能な汎用性も評価できる。平時から建物カルテとして維持管理情報を蓄積し住宅会社と施主との継続的なコミュニケーションを支援する機能も実用性を備えており、防災・減災から建物ライフサイクル全体を支える新たな社会インフラに貢献する製品・技術と評価した。

『優良製品・技術表彰 選考委員会』

■お問い合わせ先

一般社団法人 日本建築材料協会

大阪市西区江戸堀 1-4-23 撞木橋ビル 4 階 Tel 06-6443-0345